

C A T水和剤 シマジン	取扱メーカー： 日産、日農、住友化学 原体メーカー： シンジェンタ
成分： C A T〔トリアジン系 PRTR・1種〕……………50.0% その他 PRTR 該当成分： ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル[PRTR・1種]…～1%	性状： 類白色水和性粉末 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 畑地一年生雑草全般に殺草作用を示すが、広葉雑草に強く、イネ科雑草に若干弱い傾向がある。
- 土壌中の移行性は有機質及び粘土の含有量に密接に関連するが、移行性「小」の部類に属する。またそれは処理後の降雨の多少に左右される。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 雑草の発芽直前から幼少雑草に至るまで広い殺草幅を有するが、気象条件などにより雑草の発生、生育が急に伸長することが起こりうるので、なるべく早めに散布することが大切である。
- 土壌吸着性が高く、また土壌中の移動性も小さいので薬害も少なく除草効果は安定しているが、砂質であった圃場では時として激しい降雨などにより処理層が破壊されることがある。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 砂土あるいは水はけの良い土壌では使用しない。

- 作物の生育中に散布する場合は、なるべく薬液が作物にかからないようにする。

- 散布後、短期間に後作物を作付けする場合、影響を及ぼすことがある。

- 適用作物（全般）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

- 適用外作物（隣接の広葉作物、西洋芝（ティフトン以外））への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

〈水質汚濁性農薬〉

- C A T（シマジン）の使用規制がとられている地域ではその規制に従って使用する。また、これらの場所以外でも、一時に広範囲には使用しない。
- 河川、湖沼など及び浄水場の近くで散布する場合は、風向、農薬の飛散状況に十分注意し、それらの場所に飛散するおそれが生じた時は、直ちに散布を中止する。

- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

【適用と使用法】……………

作物名	適用 雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	本剤及びCATを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量		
未成熟とうもろこし	一年生 雑草	砂壤土 ～埴土	は種後出芽前 (雑草発生前)	60～100 g	70～100 ℓ	全面土壌 散布	1 回
そらまめ 未成熟そらまめ			50～100 g				
ゆり			植付後 (雑草発生前)	100 g			
桑			雑草発生前	150～300 g	100～200 ℓ		
りんご しき			春季雑草発生前		70～150 ℓ		
かなきつ			春～夏季 雑草発生前				